

たかはま アーカイブ



市では、これまで高浜が歩んできた歴史や人々の記憶を知り、市の有形・無形の資料を整理して後世へ伝えるとともに、今を生きる私たちを目的として、来のみちづくりに活かしていくことを目的として、市民の皆さんの協力を得ながら、新たな「高浜市誌」の編さんを進めています。タイトルにあるアーカイブとは「記録保管所」という意味です。このコーナーでは、編さん作業の中で掘り起こされた写真や資料などを中心に、まちのこれまでのあゆみや魅力・自慢などを紹介していきます。

「こんなことを知っている!!」「他にもこんなことがあったよ!」といった情報がありましたら、ぜひお寄せください。



大正時代の専修坊（『高濱商工案内』より）

1000年以上の歴史を誇る、高取の古刹

[本郷町]



▲現在の専修坊（2019年1月撮影）

大正11年（1922）発行の『高濱商工案内』のなかに、当時の専修坊の写真が掲載されています。門前にある民家の屋根から撮られたもののようです。山門、鐘撞堂、本堂が一直線に並んでいるようすがわかります。山門は、大浜陣屋から明治時代に移設されたものといわれています。修理により外観は変わっていますが、現在でも屋根根組材の一部には当時のものが残っています。



◀蓮如上人が田植えを見たことを伝える石碑（2019年1月撮影）

室町時代といわれています。室町時代1468年には蓮如上人が滞在し、その際に当時の住職のことを「専修坊」と呼んだことから、それがそのままお寺の名前になったといわれています。本堂の南側には、蓮如上人が田植えを見たことを伝える石碑が建っています。

専修坊は浜の三ヶ寺（大浜西方寺、高浜恩任寺、高取専修坊）のひとつとして、この地域で大きな影響力を持ち、江戸時代の終わりに、現在の高浜市域だけでなく、安城や岡崎といった広い地域に1000軒ほどの檀家がありました。このような古い歴史があることから、室町時代以降の各地の古文書に寺の名前が多く残り、ゆかりの文化財も数多く残っています。（T・K）

問合せ先 いきいき 文化スポーツグループ ☎52-1111（内線330）

ポルトガル語は23ページ

高浜を愛し、高浜の良さを学んで、高浜でたくましく生きる未来市民の育成

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月のめざす学習習慣を皆さんと共有します。

3月

自分のまちを大切にす子

- ◀めざす年長児▶ともだちやみぢかなひととなかよくします。
- ◀めざす小6生▶友達や学校を大切に思い、役に立つことを進んで行います。
- ◀めざす中3生▶家庭や地域を大切に思い、役に立つことを進んで行います。

高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト

いきいき 教育センターグループ ☎52-1111（内線311）

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

市公式ホームページでは、英語・中国語・韓国語・ポルトガル語の4か国への変換機能を利用できます。

早期配布にご協力ください。